

長崎市立三川中学校 学校だより HP



「緑のそよ風」

第9号 令和7年9月18日(木)

文責 校長 井上博之

9月1日に2学期始業式を行い、2学期が始まりました。1学期終業式から9月までの間も様々な地域行事や生徒の活動、活躍がありましたので、お知らせいたします。

○ 三川夏祭り

7月19日(土)午後6時より、三川中央公園で「令和7年度三川夏祭り」が開催されました。このお祭りは、三川町自治会と三川団地自治会の企画・運営で毎年この時期に実施されています。コロナ禍の中断を経て復活し、今では地域の行事として定着しているようです。いくつかの出店や屋台もあり、やぐらでの太鼓が雰囲気を盛り上げていました。男子バスケ部保護者の出店もあり、多くの生徒が楽しく参加し、地域との温かなつながりを感じました。私も地域の方々と生徒と一緒に盆踊りができ、夏の思い出となりました。



○ 三者面談、二者面談

7/22(火)から約2週間、3年生は三者面談、1.2年生は二者面談を実施しました。担任から学校での様子、学習状況、1学期の頑張り等を中心に説明させていただきました。また、ご家庭からは生徒の家庭での様子や進路希望等についてお聞きすることができ、保護者と学校との情報共有、共通理解ができる貴重な機会となりました。ご多用な中にご来校いただき、ありがとうございました。この場をお借りしてお礼申し上げます。



○ 駅伝練習

7/22(火)から、毎週火曜と木曜の2回、11名で駅伝練習を開始しました。近年の猛暑の中での練習について、熱中症や運動後の体調悪化、事故等のリスク等を考慮し、今年度は参加希望者が集まらない場合は駅伝大会出場を見合わせる予定でした。しかし、2年生有志が参加の意欲を強く示し、チームとして出場できる人数が揃ったため、大会参加に向けて練習を開始することとなりました。練習初日には早朝から登校して練習のためのライン引きを行っており、生徒の主体性と熱意、自分の限界に挑戦しようという意気込みに感心しました。練習前後には健康観察票で体調等を確認し、練習後のクールダウン(手洗い場での手足の水冷却やミストシャワー、エアコン活用)に工夫を加え、熱中症に十分注意しながら練習を続けています。現地での試走は9/10(水)、9/17(水)、9/24(水)に実施予定です。



試走での生徒の輸送には、三川中部活動振興会からの援助と保護者様の送迎のご協力を頂いて実施しております。ご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

長崎市中学校総合体育大会駅伝競走大会は10/2(木)に、かきどまり陸上競技場と周辺コースで開催されます(予備日は10/3)。男子1チームと、女子1名(オープン参加)で出場します。指導は宇治原先生と金城先生が中心に行っています。9月に入っても連日30℃を超える暑さが続く中、生徒は地道な努力を続けています。主体性を持って参加し、苦しい練習に正面から向き合い、自分の限界に挑戦し続けている生徒の姿に感銘を受けます。是非、皆様のご理解とご声援をこれからもよろしくお願いいたします。

○ 原爆殉難教え子と教師の慰霊式

8/1(金)11時から、長崎市平和会館にて第44回原爆殉難教え子と教師の慰霊式が開催さ

れ、本校からも平和実行委員の 10 名と川口教諭（引率）、校長が参列しました。この式典は、80 年前の原爆投下により失われた、多くの教師や児童生徒の御霊を慰めるために昭和 57 年 8 月より始まりました。長崎市長、県教育長、児童生徒代表、教師代表の慰霊のことばに続き、折り鶴奉献、純心中学・高校の合唱があり、式の最後には参列者全員、一人一人が祭壇に献花を行い、亡くなられた多くの人々への慰霊と世界平和の実現を願いました。



○ いわき市・長崎市生徒会リーダー交流会

8/8（金）に、長崎市立図書館新興善メモリアルホールで、いわき市の中学生 29 人と長崎市の中学生 34 人が平和交流を行い、本校から生徒会代表 1 名が参加しました。この事業は、2013 年度から行われており、東日本大震災と東京電力福島第 1 原発事故で影響を受けた福島県の小中学生が長崎市を訪れ、原爆と原発事故で同じ苦しみを抱えた地として思いを共有し、世界の平和についてお互いに学び、意見交換を行う活動です。長崎大学核兵器廃絶研究センターの中村桂子准教授によるワークショップでグループごとに核兵器根絶の方法などを話し合い、意見交換をしました。8/9 を前に他県の生徒と意見交換し、平和について深く考える貴重な経験となりました。活動の様子は TV や新聞で紹介されました。



○ ALT 着任式、平和記念集会、長崎市平和祈念式典参加

8/9（土）は平和学習、平和集会のための登校日でした。平和集会の前に、2 学期からご指導いただく新 ALT の着任式を行い、生徒代表が歓迎のあいさつを英語で行いました。先生は、2 学期から本校と西山台小、仁田佐古小の 3 校で指導されます。

着任式に続いて、3 年フロアで全校生徒による平和祈念集会を行いました。平和実行委員長が開会の挨拶、司会進行を副委員長が行いました。始めに被爆体験講話の感想発表を各学年代表が行いました。次に学年毎にこれまでに取り組んできた平和学習の発表を行いました。続いて長崎市平和祈念式典をネット中継で視聴し、11 時 2 分に黙祷を行いました。そして平和人権実行委員の発表、三川中平和宣言、最後に「クスノキ」斉唱を行いました。前日の 8/8（金）には、生徒会長が、式典での献水を「平和の泉」から採水し、献水を担当する青少年代表 3 人と共に、式典で献水を行いました。前日、当日の様子は TV や新聞で紹介されました。



○ 中学生議会 8/18（月）、19（火）の 2 日間、中学生議会が行われ、

生徒会長が学校代表として参加しました。この取組の目的は「市議会議事を利用し自分達で議決したことが自分達の生活に反映されるという地方自治の仕組みを学ぶ」「安心安全な学校や地域づくりに貢献する態度を育成する」「人間関係や社会形成、課題解決能力等、キャリア形成に必要な能力向を図る」ことです。1 日目に市議会や長崎市の取組の説明を受け、次に東西南北の学校ブロック毎に提案内容を協議して資料にまとめ、2 日目にリハーサルの後、午後からは長崎市役所市議会場で本物の議会と同様に議会を行いました。大原さんは北部ブロック代表として多くの意見や質疑応答を積極的に堂々で行い、メディアの取材でもインタビューに答え、TV で放映されました。議会で議決された『いじめゼロ宣言』の実現に向けた具体的取組み＝「いじめゼロマスコットの作成」「学校全体を明るくするイベフェスの実施」は市内全中学校で実施され、『ふるさとの良さを生かし、さらに魅力的な長崎にするためのアイディア』も各学校を中心に公開されます。

